

切磋琢磨Ⅲ

R2.9.28 第22号

歴史と伝統のある二川小学校

秋分の日を境に、秋の深まりを感じる季節となりました。先週、登校指導で歩いていると、道端に赤や白の彼岸花がきれいに咲いているのを見かけました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言います。昔の人は、田んぼの稲刈りをしながら、この花と名月を見て、秋を感じていたのだそうです。

さて、先週発行予定が3日間遅れてしまいました。明日から、6年生が修学旅行に出かけます。コロナや台風を心配していましたが、幸いにもみんな揃って元気に出かけられそうです。京都や奈良も、例年のような賑わいはないようですが、「三密」に気をつけて行ってきます。

2022年創立150周年を迎えます

二川小学校の正面玄関を入ると、大きな沿革史一覧表が飾ってあります。今年度で創立148年目。あと2年で150周年となります。これまでに小学校名が13回も変わっていることもこの表からわかりました。この年表から、150年と一言では済まされないたくさんの歴史と伝統がこの二川小学校にはあることを改めて知ることができます。

「二川」という名前は「梅田川」と「落合川」の二つの川が流れる地域だということで付けられたようです。創立は学校沿革誌では明治6年9月となっています。実はその前年の4月に「二川・大岩・谷川の三字連合して一校を立て“義校”と称す」という記録があります。この「義校」から数えてなのでしょうが、100周年記念事業が1972年に行われました。この時に植樹した銀杏の木10本が、秋にはきれいな黄色になり、校庭を飾ります。

その100周年記念から50年後の2022年に、校区を挙げて記念事業を行う計画が進んでいます。今回は、校区とともに盛大にお祝い行事をする予定です。下の写真は、140周年記念で行ったイベントの様子です。

創立140周年記念行事
探して！見つけて！再発見！
二川オリエンテーリング



～150周年記念事業に向けて～

全校児童が「二川オリエンテーリング」をしました。校区をまわりながら、二川のよさを再発見するというイベントだったそうです。今回の150周年記念行事は、さらにスケールアップするようです。まだ2年先のことですが、校区の方々の思いが強く伝わってくる事業だと実感しています。

さて、この150周年記念事業に際し、校区の皆様には、多大な募金をいただき、本当にありがとうございました。また、PTAからも5年間にわたり20万円ずつの事業積立金をご準備いただき、今年100万円の寄付金をいただきました。この場をかりて厚くお礼申し上げます。

現在、校区の方々が中心となり、150周年記念事業に向けて、さまざまな活動をしてくださっています。その一つに「校舎検討部会」があります。新しい教育に合った、未来を見据えた夢のある二川小学校校舎建築の要望を出すための準備をしています。①教育の多様性に対応できる②豊かな環境が整っている③地域社会に開かれた、この3つを兼ね備えた学校施設をイメージし、豊橋技術科学大学と連携して未来の学校設計図を作成していく予定です。

もちろん、そこで生活するのは子どもたちです。子どもたちの描く「未来の学校」とはどのようなもののでしょうか？この校舎検討部会を進めるにあたり、子どもたちや保護者のアイデアをいただきたいと考えています。改めて、高学年を対象に「夢のある、未来の二川小学校」へのアイデア募集がありますので、ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

併せて、現在の老朽化している校舎についても、漏水工事や古くなったトイレ改修などが実現されるように、地域の方々が行政に働きかけてくださっています。予算が必要な事業でありますので、すぐにはいかないかもしれませんが、早いうちに改修が実現することを願っています。

「あいさつ」の花が咲いています

今年からSST(ソーシャルスキルトレーニング)を学級活動の中に取り入れています。最近、多くの学年や学級で「あいさつ」についてSSTで学んでいます。「あいさつ」は、強制されてするものではなく、自分が心からするものだと思います。あいさつは、人と関わりをもつためのきっかけとなります。

気持ちのよいあいさつをSSTで体感することから、日常生活で実践することにつながればいいと思います。あいさつに名前や一言を付け加えた素敵なあいさつができる子が増えてきました。朝からうきうきしています。